

感染症の発生・まん延防止に向けて

健康課 感染症・疾病対策班

主任 林 亜友美

平成 20 年採用

高岡厚生センター、くすり政策課等を経て
平成 30 年 4 月から現所属



県内ゆるキャラとキャンペーン



担当者会議の準備風景

県民の感染症予防・治療をサポート

健康課感染症・疾病対策班では、感染症に関する業務、難病相談・支援に関する業務、公害健康被害対策に関する業務などを行っています。

私は、主に、結核対策、季節性インフルエンザ対策、難病対策として、啓発や広報、医療費助成に関する事務などを行っています。

また、市町村や関係団体が行う結核事業への助成や協力など、他機関とも連携して業務を行っています。

仕事の魅力・やりがい

近年、グローバル化により、多くの新興・再興感染症のリスクがあります。ひとつの学校や地域の感染症発生が、日本全国にまたがる大きな事象の氷山の一角であることも想定されます。

健康課には、毎日、様々な感染症や疾病に関する情報が集まってきます。刻々と変化する情報を収集し、行政職、医師や獣医師、保健師など異なる職種の同僚とともに、スピード感を持って仕事を進めることが求められます。

非常に多忙で関係者との調整も多い仕事ですが、県民の安全・安心に直結する仕事であり、とてもやりがいを感じています。

ある1日のスケジュール

8:30	<出勤・執務開始> ▼ メールチェック、午後の会議資料確認
10:30	<課内での打合せ> ▼ 業務の進捗状況を報告 午後の会議の最終打合せ
11:00	<報道対応> ▼ インフルエンザ様疾患による県内学級 閉鎖状況をプレスリリースし注意喚起
12:00	昼食・休憩
13:00	<会議> ▼ 結核予防に関する担当者会議
15:30	帰庁後、報告書を作成 ▼ 結核健診事業の補助金審査
16:30	<メールチェック> ▼ 難病相談・支援に関する照会回答
17:15	退庁

県外出身の薬剤師も活躍

私を含め、県外出身の薬剤師職員が多数います。はじめは謎の多い富山弁に苦労しましたが、慣れれば、言葉や風習などの困りごとはありません。

車社会のため自動車の運転ができた方が便利ですが、運転をしなくても仕事・プライベートを問題なく生活している方も多くいらっしゃいます。

休日は山へ海へ温泉へ・・・県内各地へ出かけて、のんびり楽しく暮らせる環境があります。

メッセージ

県庁では薬務行政のほか健康行政などを、出先機関では病院調剤のほか衛生関連業務全般を経験できます。幅広い仕事ができるのが行政薬剤師の魅力です。色々な仕事をしてみたい方におすすめです。